

社 報



来年の4/7に展示会を開催します

ガッチ 600×1800

現場で使用いただいている、ガッチですが、先日新たに、1,000枚が入荷しました。今回のガッチは、クリップ連結穴の大きさが9mmと、クリップ径8mmに対して、精度良く正確な位置に設けられています。クリップを挿入することで、表面の面板が揃い、目違いの発生が少なくなります。まだまだ、使用回数が少なく、扱いにくいところもあるでしょうが、当社開発の未来型枠を進化させて行きたいと思えます。(拝)



「ガッチ」めざせ！転用200回！

2017年4月7日(金)に当社開発製品の展示会を開催いたします。

主な展示物は、

- ・システム型枠「ガッチ」
- ・アルミ鋼管「Z」
- ・アルミ支柱(開発中)
- ・柱外締め金物
- ・サポートスタンド
- ・手摺天端金物
- ・サポートピン NH45

などを、予定しています。

案内は、元請企業様、型枠企業様、設計事務所様をはじめ、関係各位の皆様にご覧いただけます。

世の中は、いつも新製品の開発が競争のように行われています。今度の新製品は、大ヒットして爆発的に売れるのではないかと、夢を追いかけて、知恵を働かせている訳です。当社のような、型枠工事事務所が、型枠工事の関連製品ながらも、工事事務所が製品開発をして、海外工場生産を行い、日本で発売するという例は、建設業界ではとても珍しいことではないかと思えます。

誰もがやったことのない仕事、ですか

ら、これを無謀というか、成功するはずがないとか、いろいろと言われると思います。事実、ビジネスの挑戦は成功する例がわずかで、ほとんどが失敗すると言われています。

だとすれば、自ら挑戦せずに、傍観者となって、評論家みたいなことを言っておれば、それで面目は保たれるわけですが、それでは社会に生を受けて、精一杯の務めを果たしたとは言えないと思うのです。

文明の進歩は、いろんな人が、夢を追いかけて、真理を追究し、研究と実験、製作と実践を、繰り返して行ってきたからこそ成し得た訳で、その成果を文明の進歩にあやかかって、満足してただけではだめだと思えます。自らが、文明の進歩の一助となるべく、新しい取組を進めていかねば、長年にわたって業界に身を置き、何を鍛錬してきたと言えるのでしょうか。

進歩のための失敗を恐れることなく事を進めて、大勢の人に当社の技術を知ってもらい、様々な意見をお聞きして、さらに技術を進めていくために、展示会を開催いたします。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

仕事のやり方を考える

作業計画とか作業手順など、自らが計画をして、その計画の安全性を評価して、特に危険な作業は、災害を防ぐべく、災害防止策を立案して計画の中に盛り込めば、災害が防止できる、とされています。

現場では、作業手順を書き込んだり、その日の安全基準を決めたりと、

本来の仕事から離れたような仕事が増えているような気がします。準備・段取りは、昔からその大切さが言われています。もちろん大きな仕事は書類化も必要ですが、仕事と言うのは、一人ひとりの作業の集合体です。書類化だけで安全は確保できません。人の思いが先行します。今月も事故がありませんように。(拝)

2016年 安全成績

■現場災害 H28.1.1-H28.9.7	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
■交通災害 H28.1.1-H28.9.7	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0